

事業評価（案）

評価時点：事前評価

計画名称：社会資本整備総合交付金事業

大宮駅周辺地区(第2期)都市再生整備計画

《都市局都心整備部大宮駅東口まちづくり事務所》

公共事業評価調書《事前評価・社会資本総合整備計画事業》

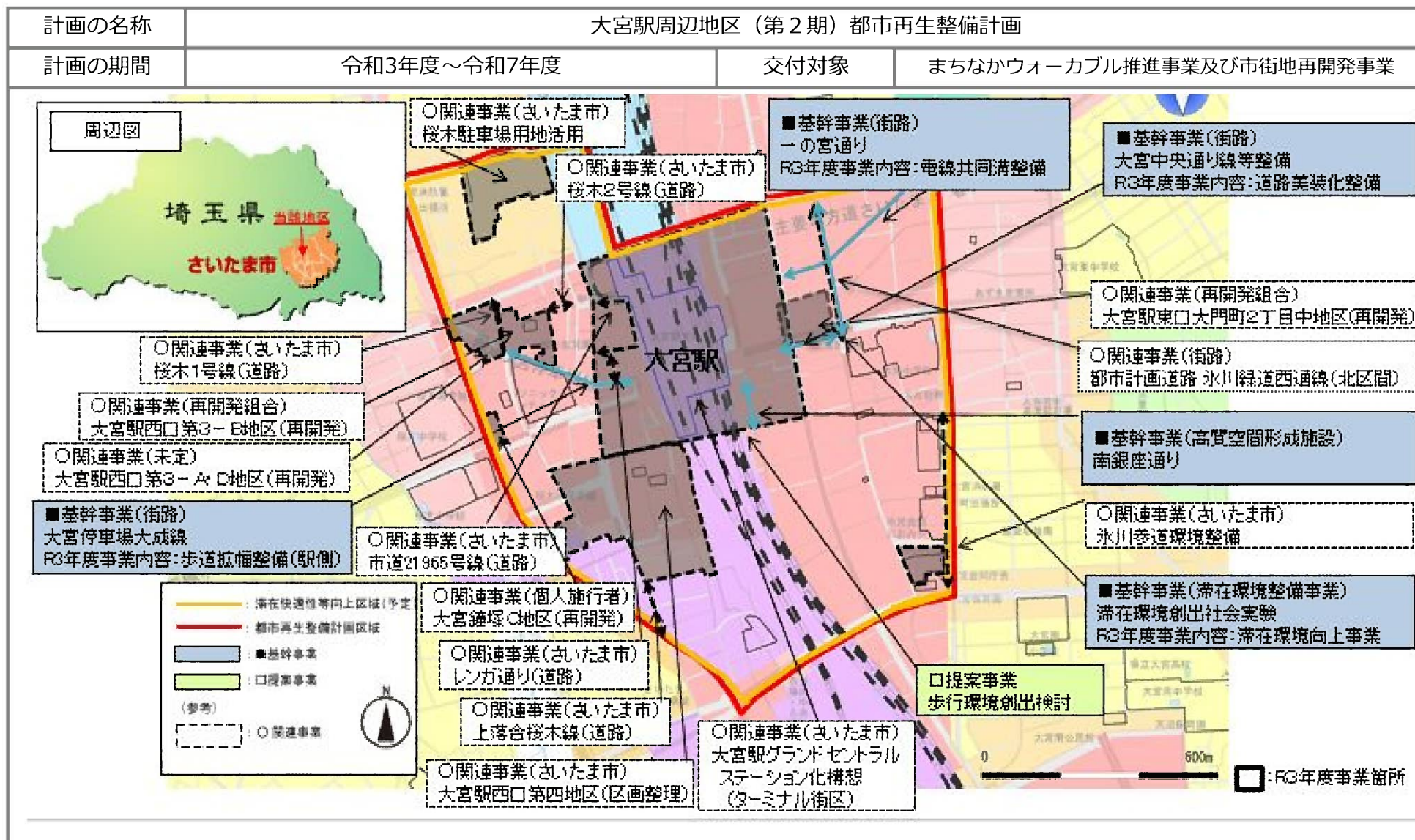
(1) 概要										
計画(事業)の名称		大宮駅周辺地区(第2期)都市再生整備計画								
計画(事業)の期間		令和3年度～令和7年度								
計画の目標		大目標 高次都市機能の集積を通じた、おもてなしがあふれる東日本の交流拠点都市の創出 小目標① 人中心の歩きたくなるまちづくりによる賑わいの創出 小目標② 魅力的な空間づくりによる大宮らしい街並みの創出								
計画の成果目標 (定量的指標)		駅周辺地区の賑わい及び回遊性								
		駅周辺地区の街並み								
		大宮中央通り線及びペンギン通り歩行者交通量								
定量的指標 の定義及び 算定式			定量的指標の現況値及び目標値							
			当初現況値		中間目標値		最終目標値			
			(年度)		(年度)		(年度)			
	指標①	アンケート調査により駅周辺の「賑わい」、「回遊性」に対して満足した人の割合	26.00%				35.80%			
	指標②	アンケート調査により駅周辺の「街並み」に対して満足した人の割合	49.40%				55.90%			
指標③	大門町2丁目中地区第一種市街地再開発ビルと大宮駅をつなぐ位置における、休日ピーク時の歩行者交通量	1022人/時				1318人/時				
全体事業費	合計(A+B+C)	14,728 (百万円)	A	14,728 (百万円)	B	0 (百万円)	C	0 (百万円)		


(様式1)

(2) 交付対象事業の詳細											
A まちなかウォークラブル推進事業及び市街地再開発事業（基幹事業）											
番号	要素となる事業名 (事業箇所)	事業種別	事業内容 (延長・面積等)	費用便益費 B/C	事業実施年度					全体事業費 (百万円)	備考
					R3	R4	R5	R6	R7		
1	大宮駅周辺地区都市再生整備計画事業（第2期）	都市再生	都市再生A=約130ha		■	■	■	■	■	653	
2	大宮駅西口第3-B地区市街地第一種市街地再開発事業	市街地	再開発A=1.3ha		■	■	■	■		9,676	
3	大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業	市街地	再開発A=1.4ha		■					4,399	
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
合計（まちなかウォークラブル推進事業及び市街地再開発事業）										14,728	
B 関連社会資本整備事業											
1											
2											
3											
合計（〇〇〇〇事業）											
C 効果促進事業											
1											
2											
3											
合計（〇〇〇〇事業）											

担当部局	都市局 都心整備部 大宮駅東口まちづくり事務所 TEL : 048-646-3289 FAX : 048-646-3292 E-mail : omiya-higashi-machidukuri@city.saitama.lg.jp
------	---

参考図面





社会資本総合整備計画
～大宮駅周辺地区（第2期）都市再生整備計画～

令和3年1月 大宮駅東口まちづくり事務所

背景・経緯

主な出来事等

平成22年

大宮駅周辺地域戦略ビジョンの策定

《3つの将来像》

「東日本の顔となるまち」

「おもてなし、あふれるまち」

「氷川の杜、継ぐまち」

平成28年

都市再生整備計画（第1期）によるまちづくりが始まる

平成29年

都市再生緊急整備地域の指定

平成30年

「大宮駅グランドセントラルステーション化構想」を策定
⇒ 駅周辺のまちづくり、交通基盤整備、駅機能高度化

令和元年

大宮区役所新庁舎が供用開始

令和元年

「ウォーカブル推進都市」へ



課題・目標

課題

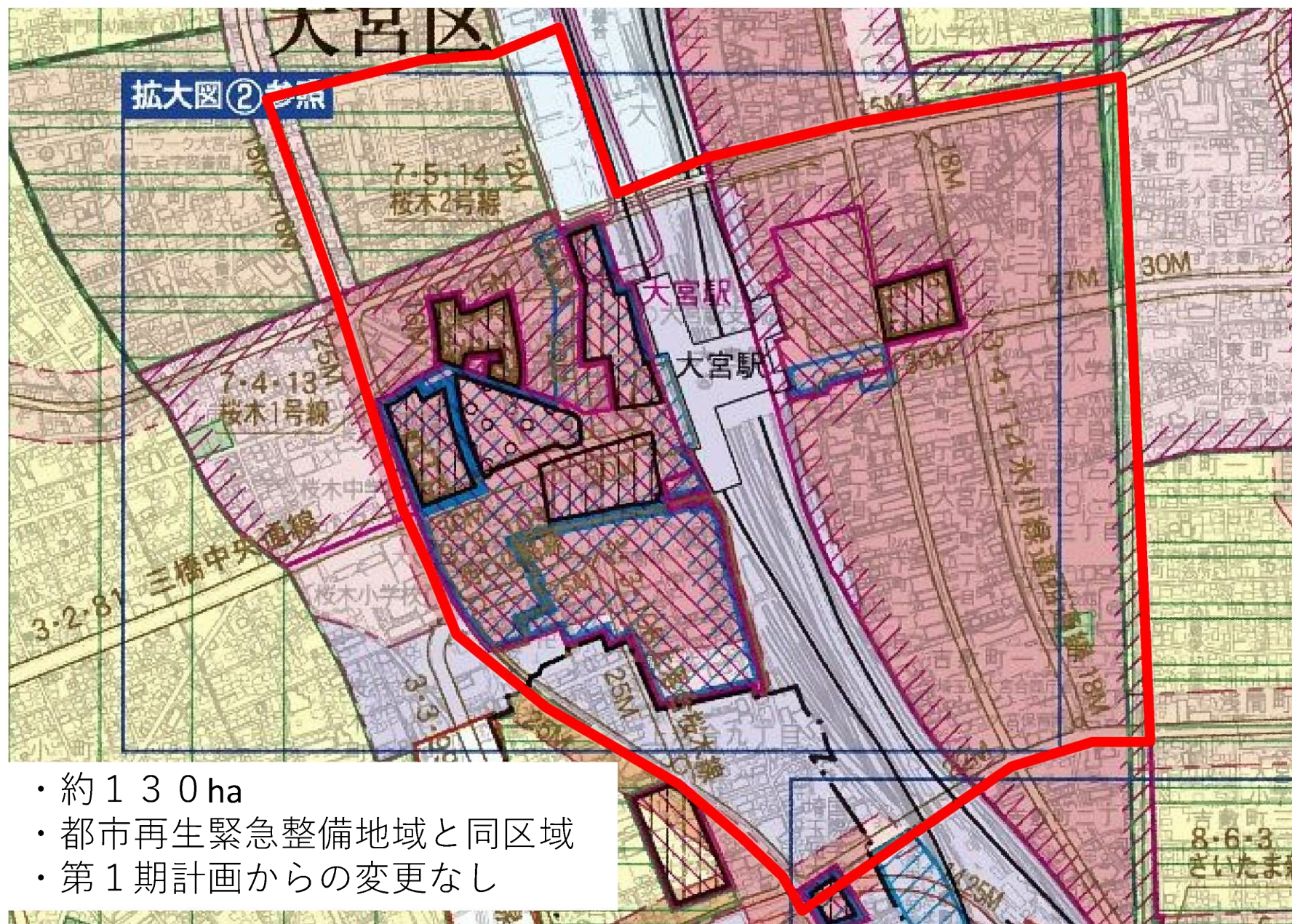
- ・ 都市基盤等の整備に遅れが目立ち、ポテンシャルが活かし切れていない
- ・ 「大宮らしさ」を象徴する新たな魅力や価値を創出していく必要がある
- ・ 民間の力を、まちづくりの推進にさらに活かしていく必要がある
- ・ 広域交通の拠点性の向上と地域内の快適な移動環境の実現を図る必要がある
- ・ グローバル社会にふさわしい都心活動と都市空間の形成を図る必要がある

目標

大目標 高次都市機能の集積を通じた、
おもてなしがあふれる東日本の交流拠点都市の創出

- ◆小目標① 人中心の歩きたくなるまちづくりによる賑わいの創出
- ◆小目標② 魅力的な空間づくりによる大宮らしい街並みの創出

計画区域



- 約 1 3 0 ha
- 都市再生緊急整備地域と同区域
- 第 1 期計画からの変更なし

計画概要

計画期間

令和3年度 ～ 令和7年度

要素となる事業名

事業名（基幹事業）	内容	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 (百万円)
大宮駅周辺地区（第2期） 都市再生整備計画事業	まちなかウォー カブル推進事業 (詳細は次ページ)						653
大宮駅西口第3-B地区市街地 第一種市街地再開発事業	間接補助 再開発A=1.3ha						9,676
大宮駅東口大門町2丁目中地区 第一種市街地再開発事業	間接補助 再開発A=1.4ha						4,399



←大門町2丁目中地区
再開発イメージ

西口第3-B地区 →
再開発イメージ



都市再生整備計画事業について

まちなかウォークアブル推進事業として、以下の事業を実施します

一の宮通り（街路）



南銀座通り（高質空間形成施設）



滞在環境創出社会実験
（滞在環境整備事業）



大宮中央通り線等（街路）



大宮停車場大成線（街路）



歩行環境創出検討（事業活用調査）



これら以外に、関連事業として多くの事業を実施します

指標

指標 1：駅周辺地区の賑わい及び回遊性

アンケート調査により駅周辺の「賑わい」、「回遊性」に対して満足した人の割合

従前値	目標値
26%	36%

指標 2：駅周辺地区の街並み

アンケート調査により駅周辺の「街並み」に対して満足した人の割合

従前値	目標値
49%	56%

指標 3：大宮中央通り線及びペンギン通り歩行者交通量

大門町2丁目中地区第一種市街地再開発ビルと大宮駅をつなぐ位置における、休日ピーク時の歩行者交通量

従前値	目標値
1,022人/時	1,318人/時

指標1・2について

指標1：駅周辺地区の賑わい及び回遊性

指標2：駅周辺地区の街並み

アンケート調査の概要

調査期間：令和2年7月14日 ～ 令和2年8月31日

調査対象：満20歳以上の大宮区民 1,500人（無造作抽出）

回収数：550通（回収率 36.7%）

アンケートの内容

- ①現況の「賑わい」「回遊性」「街並み」についての満足度を5段階から選択
- ②今後、整備が進むことによって、同項目が改善されるかの期待度を5段階から選択

【アンケートの選択肢】

- ①そう思う
- ②どちらかと言えばそう思う
- ③どちらともいえない
- ④どちらかといえばそう思う
- ⑤そう思わない

指標設定の考え方

【**現況値**】 現況について、「①そう思う」、「②どちらかと言えばそう思う」を回答した人の割合

【**目標値**】 今後の期待度に対して、「①そう思う」、「②どちらかと言えばそう思う」を回答した人の割合

指標3について

指標3：大宮中央通り線及びペンギン通り歩行者交通量

指標設定の考え方

【現況値】

- ・過年度調査より、交通量のピーク時間帯を確認
- ・ピーク時間帯（14時台）における現況調査を実施

【目標値】

- ・現況値に大門2再開発による発生集中交通量（504人）を方向別に按分して加算（東西方向296人、南北方向208人）



調査地点

路線	交通量（現況）	目標値
大宮中央通り	637人	821人（637人+184人）
ペンギン通り	385人	497人（385人+112人）
合計	1,022人	1,318人

他事業との連携について

関連事業

- ・都市再生整備計画では、右図の事業を関連事業として位置付けています。

都市利便増進協定

- ・都市再生推進法人であるアーバンデザインセンター大宮（UDCO）と都市利便増進協定を締結し、パブリックスペースを活用した賑わい増進に取り組んでいます。

協定の締結により
民間運営される
OM TERRACE



1	大宮駅グランドセントラルステーション化構想
2	桜木駐車場用地活用
3	都市計画道路 氷川緑道西通線
4	都市計画道路 桜木1号線
5	都市計画道路 桜木2号線
6	都市計画道路 上落合桜木線
7	大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業
8	大宮駅西口第3-B地区第一種市街地再開発事業
9	大宮駅西口第3-A・D地区第一種市街地再開発事業
10	大宮鐘塚C地区第一種市街地再開発事業
11	大宮駅西口第四土地区画整理事業
12	氷川参道環境整備
13	レンガ通り
14	市道21965号線

関連事業一覧

➡ 基幹事業とこれらの事業が連携し、効果的に目標の達成を目指します。

以上、ご審議のほどよろしく
お願いいたします。